

令和6年12月6日第二回「特殊詐欺予防講座」を
逆瀬川グリーンハイツ集会室で開催しました。

講師：兵庫県宝塚警察署生活安全課 浦田 玲 警部補

補助：宝塚市役所交通安全課

3月1日に引き続き「特殊詐欺予防講座」を開催しました。

「特殊詐欺」の手口が巧妙になり、司法の取り締まりが追い付かない状況になっている事から特殊詐欺に騙されなくする、我々を欺くあらゆる手段や手口を予防する為には、どの様な事に注意点が必要か手口を知って罠を見抜く具体的な防御についての講習を受けました。

3月にも話された被害、令和5年度国内被害件数 19,033件（対前年度+1,463件 +8%）被害額 441億円（同+70億 +19%）兵庫県内では1,224件（+150件）20億円（+8千万）もの被害が出ている。

被害発生エリア ①阪神地区 37.1% ②神戸 36.3% ③播磨 23.8%で阪神間が全体の73%となっている。その中で宝塚市は県下ワースト2位の被害発生状況となっている。

更に県下の被害者は 65～69歳 14.9% 70歳代 29.5% 80歳以上 32.4% 被害者の約80%を占めていることから高齢者をターゲットとして複数のグループで役割分担し詐欺の手口は「まさか詐欺とは」思わせない極めて巧妙です。

特殊詐欺被害の実態は、○ オレオレ詐欺 ○ 預貯金詐欺 ○ キャッシュカード詐欺が大半であるが、近年オレオレ詐欺を抜いて還付金詐欺が増加し巧妙化・悪質化している。

結論 * 詐欺に掛かる人、= 『私は大丈夫』 の人が一番危ない。

（特殊詐欺の罠）

電話などを使って『誰か』になりすまし、対面する事なく信用させて、もっともらしい『ウソ』でお金を奪う特殊詐欺、時間に制限を設けて焦らせたり、他人に相談する機会を奪って犯行に及ぶ。

（対処方法 ①）

● 手口を知って罠を見抜きましょう

* 官公庁から『還付金』の電話連絡。 警察から『キャッシュカードを預かるは『絶対ない』ので慌てないで、相手の所属及び氏名を確認し後ほどかけ直すと電話を切り、所属先代表電話にて所属者氏名を確認する事が重要。息子・親戚からの連絡は折り返し本人に確認する事。

（対処方法 ②）

犯人からの接触を断つために、在宅中でも『留守番電話』に設定したり、通話の『自動録音装置』などがついた防犯機能付き電話（補助金制度あり）を活用しましょう！

『還付金がある』 『ATMへ行って』は詐欺！！

◎不安を感じたり『詐欺かも？』と思ったら、迷わず相談を☎#9110（警察相談窓口）